

[県民公開講座]



講演タイトル

生き抜くという旗印

演者

岩崎航 (詩人)

詩人。1976年1月、仙台市生まれ。
本名は、岩崎稔。仙台市立向山小学校、仙台市立五橋中学校、宮城県立仙台第一高等学校通信課程を卒業。3歳の頃に進行性筋ジストロフィーを発症。17歳のとき、自分の未来に絶望して死のうとまで考えたが、「病をふくめてのありのままの姿で自分の人生を生きよう」と思いを定める。今は胃ろうからの経管栄養と人工呼吸器を使い、在宅医療や介護のサポートを得て自宅で暮らす。25歳から詩を書き始め、2004年の秋からは五行歌を詠む。2013年7月、詩集『点滴ボール 生き抜く』という旗印(写真・齋藤陽道/ナナログ社)を刊行。詩人の谷川俊太郎、糸井重里をはじめ、各界から大きな評価を得る。本年9月、仙台にて詩人の谷川俊太郎と自身初となる朗読会を開催。現在、年内のエッセイ集刊行を予定し執筆を続けている。

座長 森崎 市治郎 (大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部教授)

2014年 **11.16**日
13:00~14:00

■会場 / 仙台国際センター2階 橘
■受付開始 / 12:30~

参加無料

事前申込不要

※ご来場の際は恐れ入りますが
公共交通機関をご利用ください。

